
市立病院における 高齢者に向けた医療体制の充実について

令和6年9月10日 病院局

目次

1 市立病院の高齢者医療の現状

(1) 青葉病院

ア 主な特色

イ 診療実績

ウ 地域連携での取組と課題

(2) 海浜病院

ア 主な特色

イ 診療実績

ウ 地域連携での取組と課題

2 今後の取組

(1) 青葉病院

(2) 海浜病院・新病院

1(1)ア 青葉病院の主な特色

- 内科 内科学すべての領域に専門医がいる総合内科
(専門領域での縦割りとならない体制を構築)

- 整形外科 整形外科全般にわたる疾患・外傷に対応可能
受傷後48時間以内での手術が可能
早期のリハビリ・在宅移行

- 泌尿器科 全国有数のレーザー手術症例数

- 外科・消化器外科
大腸疾患、胆石症及び虫垂炎などの手術に関しては
低侵襲で体に優しい腹腔鏡手術に注力
鼠径ヘルニアの専門外来を設置

高齢患者数の割合が高い診療科

令和5年度の診療科別入院患者数

診療科	患者数総数 (延患者数)	65歳以上患者数・割合	
		延患者数	割合
皮膚科	932人	721人	77.36%
内科	60,756人	45,299人	74.56%
整形外科	14,695人	10,910人	74.24%
泌尿器科	6,372人	4,607人	72.30%
患者数総数	96,794人	64,788人	66.93%

1(1)イ 青葉病院の診療実績②

高齢患者数の割合が高い診療科

令和5年度の診療科別外来患者数

診療科	患者数総数 (延患者数)	65歳以上患者数・割合	
		延患者数	割合
リハビリテーション科	35,350人	27,613人	78.11%
泌尿器科	15,072人	11,697人	77.61%
外科	5,222人	3,677人	70.41%
歯科	1,950人	1,281人	65.69%
患者数総数	186,615人	104,816人	56.17%

1(1)イ 青葉病院の診療実績③

高年齢患者の受診で多い疾患と主な手術・治療
(令和5年度退院の65歳以上の※DPCデータによる)

診断群分類(MDC6)	件数	主な手術・治療
肺炎等	255件	細菌性肺炎・肺炎・急性肺炎等の治療
その他の感染症 (真菌を除く)	183件	COVID-19等の治療
股関節・大腿近位の骨折	155件	大腿骨頸部 転子部骨折に係る人工骨頭挿入術等
狭心症、慢性虚血性心疾患	144件	労作性狭心症・陳旧性心筋梗塞に係る 経皮的冠動脈ステント留置術等
心不全	143件	うっ血性心不全に係る治療等
非ホジキンリンパ腫	133件	悪性リンパ腫に係るリンパ節摘出術・化学療法等
前立腺肥大症等	133件	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術等

※DPCデータ・・・診療報酬を計算するための全国で統一された形式の情報で
患者臨床情報と診療行為情報を含む

平均在院日数 年齢別比較

	平均在院日数
全患者	14.2日
65歳以上	15.2日
75歳以上	16.2日

75歳以上の高年齢患者での在院日数が長い診療科
整形外科 全患者 15.3日 75歳以上 22.5日

【取組】

- 在宅医療後方支援病院として、緊急入院対応などかかりつけ医との連携
- ADLの低下を防ぐため入院中に急性期リハビリを積極的に実施
- 入院早期から多職種で連携しての意思決定支援
- 多職種での退院支援・リハビリカンファレンスの実施
- 在宅をサポートする医療機関、相談機関、介護支援事業所などとの連絡調整
- 在宅資源に関する情報収集や情報交換
- 退院前カンファレンス・退院前・退院後訪問の実施
- 多職種連携会議など地域の研修会、会議への積極的な参加
- 後方連携医療機関への訪問・広報活動
- 地域への情報発信及び、研修会の企画・運営
- 転院調整クラウドの活用
- 地域連携室連絡会や看々連携の会の事務局を運営
- 千葉大学医学部附属病院CHIBA e-linkへの参加

【問題点・課題】

- 身寄りない方への意思決定支援(判断能力の判定が難しい場合など)
- 身寄りない方の場合の転院・施設入所調整
(後見人の申し立てに時間がかかる)
- 生活保護の方の行き先が限られる、退院先によっては生活保護が停止になる
- 高齢夫婦や精神疾患のある身寄りのみ、経済的な問題を抱えている場合な社会的な多問題ケースへの対応
- カスタマーハラスメントへの対応
- 地域包括ケア病棟の数が少なく、施設入所待機などの場合当院での調整になる
- ケアマネジャーが不足しており、担当者が決まらず、自宅調整に時間がかかる

1(2)ア 海浜病院の主な特色

○青葉病院と連携した総合的な医療の展開

- 消化器疾患については、内視鏡、腹腔鏡治療が充実
- 高齢者の心臓カテーテル治療を強化
- 脳神経外科診療が令和5年から本格稼働し、脳卒中科新設

○がん診療

- 地域のがん患者へのニーズに応えるべく、外科系診療科の充実を図り、新病院における肺がん、乳がん、前立腺がん、消化器がんなどの診療体制、病理検査体制を整備

高齢患者数の割合が高い診療科

令和5年度の診療科別入院患者数

診療科	患者数総数 (延患者数)	65歳以上患者数・割合	
		延患者数	割合
泌尿器科	795人	759人	95.47%
眼科	1,213人	1,107人	91.26%
内科	18,771人	15,475人	82.44%
脳神経外科	4,959人	3,977人	80.20%
外科	9,927人	7,252人	73.05%
患者数総数	72,824人	31,017人	42.59%

高齢患者数の割合が高い診療科

令和5年度の診療科別外来患者数

診療科	患者数総数 (延患者数)	65歳以上患者数・割合	
		延患者数	割合
泌尿器科	3,220人	2,788人	86.58%
外科	11,891人	8,254人	69.41%
眼科	9,847人	6,811人	69.17%
整形外科	2,977人	1,948人	65.44%
患者数総数	108,957人	44,248人	40.61%

1(2)イ 海浜病院の診療実績③

高年齢患者の受診で多い疾患と主な手術・治療

(令和5年度 65歳以上の入院患者より集計)

疾患 (ICD-10分類※)	件数	主な手術・治療 (病態により異なる場合あり)
白内障	394件	眼内レンズ挿入術
大腸ポリープ	315件	内視鏡的ポリープ切除術
労作性狭心症	174件	経皮的冠動脈形成術
鼠経ヘルニア	119件	腹腔鏡下修復術
うっ血性心不全	107件	薬物療法など

※ ICD-10分類・・・WHO(世界保健機構)が定めた国際的な疾病分類

平均在院日数 年齢別比較

	平均在院日数
全患者	8.6日
65歳以上	9.1日
75歳以上	9.6日

75歳以上の高年齢患者での在院日数が長い診療科
内科 全患者 16.0日 75歳以上 20.1日

【取組】

- 入院早期の患者家族面談、意思決定支援
- 定期的な退院支援カンファレンスの実施
- 相談支援センター、地域包括、ケアマネージャー、介護事業所等
関係機関との連絡調整
- 退院前合同カンファレンスの開催
- 多職種連携会議(各区)への参加
- 後方連携医療機関への訪問活動
- 転院調整クラウドの利用

【問題点・課題】

- 市や区から委託されている法人(あんしんケアセンターなど)により対応内容の相違がある
- 身寄りなし、身元不明、所持品無し、経済的に困窮しているなどの救急搬送が多く、移行に苦慮する
- 在宅移行の際に介護サービスの調整は必須だが、介護認定調査が1か月以上先になることがあり、サービス開始が遅くなる
- 連携機関と情報共有を図るためのツールとして、看護サマリや千葉県地域生活連携シートの更なる活用
- 健康保険証がマイナンバーカードに移行する中、緊急時などに持参がない場合の確認方法が不明

2(1) 青葉病院の今後の取組

引き続き各科の特色を活かし、専門医療体制の充実を図る。

- 内科 血液内科、甲状腺副甲状腺センター
 循環器内科ホットライン体制
- 整形外科 迅速な手術体制
- 外科 腹腔鏡下ヘルニア
 がん診療連携(胃がん、大腸がん)
- 泌尿器科 前立腺肥大、尿路結石

【新病院の目指す病院像】

高齢化に伴い増加が見込まれる、救急医療、循環器・脳神経・整形外科・糖尿病などの疾患、がん診療、眼科や耳鼻咽喉科などの専門的疾患など、幅広い疾病に対応できる診療体制を整備する。

【具体的な取組】

成人・高齢患者の入院医療に対応するため61床増床し、222床を整備する。

がん診療体制の整備や救急医療の強化などで増加する外科的治療や手術に対応するため、手術室を9室整備する。

がん診療については、主に肺がん、乳がん、前立腺がん、消化器がんに関わる診療科や部門の体制を整備する。